

日本藻類学会第 39 回大会開催記・参加記

日本藻類学会第 39 回大会（福岡）開催記

川口栄男

平成 27 年 3 月 19～25 日の日程で、日本藻類学会第 39 回大会を九州大学箱崎キャンパス（福岡市東区）で開催させていただきました。意外に思われる方がおられるかもしれませんが、九州での大会開催は長崎大、鹿児島大ではすでに行われているものの、九大での開催は今回が初めてです。これには実は理由があって、二十年以上前に私が九大農学部水産学科水産学第二教室（現水産増殖学研究室）に助手として着任してすぐの頃、学会開催を一度お引き受けしたことがありました。当時の教授は、藻類の奥田武男先生でした（当研究室は代々魚類と藻類が順番になっていて、初代教授は稚魚研究で有名な内田恵太郎先生、2 代目の教授は保育社の海藻図鑑を作られた瀬川宗吉先生です）。それで準備を始めようとしたわけですが、急に他大学での開催要望が出来て、それで急遽そちらへお譲りしたと記憶しています。その後すぐ、奥田先生が停年退職され、私一人では学会開催は無理とずっとお断りしてきたわけです。ところが、3 年前に栗原暁君が助教に採用され、ようやく藻類研究者 2 名体制が復活しました。で、今回、偶々予定されていた高知大での開催が急遽不可能になったことで田中次郎学会会長から直々の開催依頼もあり、また、これまでお断りしていた理由もなくなり、実質二人で学会開催準備をすることになるだろう大変さは考えましたが、何とかなるだろうとの甘い見通しで九大での開催をお引き受けした次第です。

準備を始めてみると、予想通り、否、予想以上に大変でした。特に大変だったのが学会会場の確保でした。九州大学は現在新しいキャンパスに移転中で、箱崎キャンパスの工学部（すでに移転済み）、理学部（今夏には移転予定）、文系 4 学部、農学部はすべて平成 30 年春までに移転することになっています。私の所属する農学部は施設が分散して会場としては不適なので、結局、文系学部の講義棟を借りることでようやく会場を確保しました（新しいキャンパスは市内からかなり遠いので使用は無理と判断しまし

た）。あと準備として大変だったのは、学会で開催する公開特別講演会、ミニシンポジウム、ワークショップなどの決定です。これは決まるまでに結構時間がかかりましたが、栗原君が大いに活躍してくれました。大会案内を出して申し込み受付終了後、口頭発表・ポスターの割り振り、大会会場の準備、会場要員の割り振りなどの事項は栗原君がほぼすべてやってくれましたし、瀬戸内海区水研の島袋寛盛氏にもお手伝いをいただきました。私は、懇親会を担当しました。やれやれです。

大会期間中はいろいろと不手際がありましたが、何とか大過なく終わられたように思います。準備段階から最後のワークショップ終了まで、様々な方にご協力、ご支援をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また多数の方にご参加いただかなければ大会は成り立ちませんでした。大会実行委員会を代表してすべての参加者の皆様に深謝申し上げます。

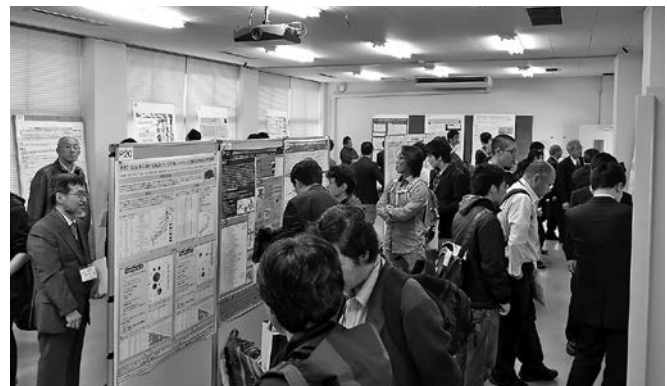
（九州大学）



乾杯：懇親会にて（写真提供：寺田竜太氏）



口頭発表会場（写真提供：寺田竜太氏）



ポスター発表会場（写真提供：寺田竜太氏）